

日本聖心同窓会

JASH だより

Japan Alumnae Association of the Sacred Heart

JASH名誉会長挨拶



会管区
心本区
聖日管
シスター
新庄 美重子
(み47、宮16)

今回の「JASHだより」

「Listening with One Heart」をテーマとした第十五回のAMASC世界大会のニュースが主な内容と伺っております。この大会は同窓生のつながりと、さらに広い輪を体験する機会であったと思います。JASHが日本の聖心同窓会をつないでいるように、AMASCが世界の同窓会をつないでいます。聖マгдаレナ・ソフィアが世界の隅々にまで、神の愛を告げ知らせる人を育てたいと学校を始められたおもいが実現し、その実りを感じられる場であったと思います。

一人ひとりの人生は自分の置かれたところで地道に練り広げられていきますが、同時に、グローバルゼーションの進む現代世界では、世界とのつながりなしに生きていくことが出来ません。また、様々な現象、出来事がこのグローバル世界では互いに関連性があり、良きにつけ悪しきにつけ、ひとつのところで起きたことは他の場所との関連なくして存在しなくなっています。

「グローバルな人間」という言葉をしばしば聞きますが、それを世界的に有名になるとか、国際競争に対応することとして捉えられがちです。しかし、本当にグローバルな人間とはこの世界のすべてのもののつながり、関連性を

意識して、共に生きること、「共生」することのできる人ではないでしょうか。国家、民族、文化、宗教を越え、また、身近なところでは、自分と気が合う人、都合の良い人とだけでなくすべての人を抱擁するinclusiveな姿勢を持つ人のことだと思っています。

その基となるのは、神が創られた世界は、すべてのもののものであり、一人ひとりとはかけがえない存在として大切にされるはずだということです。すなわち、神の心（聖心）がベースなのです。わたくしたちは、聖心の卒業生としてこの神の心を生きていくように招かれています。

聖心会の二〇〇八年の総会は聖心会会員と歩みをともしてくださる方々（協働者、友人、卒業生）にあてて次のように述べました。「ソフィアの遺産は私たち皆のものです。皆様と一緒」に、神の心の鼓動を聴こうとしています。一人も除外されることのない、そしてだれもがその人の居場所を見いだせる世界となるために一緒に励みましょう。

神の心の鼓動を聴くことは教皇フランシスコが常に促しておられる「貧しい人々のけ者」にされた人々の「叫びに耳を傾ける」ことでもあります。（『福音の喜び』参照）

グローバルな集まりのAMASCから受けた恵みを通して、JASHもまたListening with One Heartを実践していけるようにと念じております。

JASH Website



JASHに関する情報をいち早く掲載しています。ぜひご覧ください。

URL: <http://www.jash316.com/>

第16回 AMASC世界大会

次回のAMASC世界大会は、2018年にメキシコのメリダで開催されることになりました。

AMASC
World Congress

México





日本聖心同窓会会長
中山 洋子
(み51)

二〇一四年四月一日よりJASH役員会の一員となり一年が過ぎました。四年に一度のAMASC大会開催の年に当たり大会参加の準備に多くの時間を費やすことになりましたが、その大会も十一月六日―九日アメリカ合衆国アリゾナ州スコッツデールで開催され、無事に終了いたしました。十一月という年末を控えての忙しい時期に参加者を募る難しさを懸念しましたが、海外在住のJASH会員九名の現地での合流を得て、国内からの二十二名と合わせて総勢三十一名のJASH軍団を組織することができました。本号にも写真を交えて大会の様子をお伝えする特集を掲載しておりますが、三月の「JASHの日」には報告会を開催いたしました。新役員会発足後間もない四月十四日に聖心会日本管区長シスター新庄のお計らいで来日中の聖心会総長シスターコーナンにお目に掛かることができました。JASH理事会・役員会メンバー十九名は管区長館のシスター方に温く迎えて頂き、小グループに分かれ、また大きな輪を作り総長様のお話を伺うと同時に各々発言の機会も頂きました。国内八つの同窓会の連携を図り、聖心会・世界聖心同窓会（AMASC）への窓口とし

ての役割を果たすJASH設立の目的を再認識し、志を新たにすなわ第一歩を踏み出すことができました。六月にはAMASC東京大会記念基金委員会とスタディグループの共催による「ヤングアラムネとスタディグループの集い」を開催しました。どちらもアリゾナ大会を目指して行ってきた活動の総仕上げとして、基金委員会は大会参加を若い同窓生に促す事を目的とし、スタディグループは、大会テーマ「心を一つにして耳を傾けよう」に沿って三年間続けられた勉強会の総纏めの本番さながらのプレゼンテーションを行いました。JASH初の試みとなった二つの委員会の共催がお互いについての理解を深め、其々の活動に新しい視点をもたらすことを願っております。夏前にアリゾナ執行部から送られてきたAMASCの将来に対するアンケートへは、JASHの有識者と理事会メンバーの協力により多くの回答が集まり会員国としての責任を果たし、大会での審議の対象として執行部が提案した会則細則改正案についてはJASH会長AMASC役員経験者の方々に諮り、各国会長会議に備えることができました。不慣れな私がかこまで来られましたのも先輩方の温かい助言、理事会メンバーの協力、経験豊かな役員一同のサポートのお蔭と心から感謝しております。JASH会員の皆様、引き続きよろしくお願ひ申し上げます。



海外における「日本聖心同窓会(JASH)会員の集い」

現在登録されている「JASH 会員の集い」の所在地	
アメリカ合衆国	ニューヨーク サンフランシスコ/ ベイエリア
英国	
フランス	パリ
オーストラリア	シドニー

上記以外の地域で活動されている同窓生のグループがありましたら、JASHにご登録ください。「JASHだより」やJASHウェブサイト、グループの存在をJASH会員に広くお知らせし、新しく渡航される同窓生との橋渡しをします。

世界各地に聖心の同窓生が暮らし、地域ごとにグループを作って親睦を深め、助け合っています。その中でも、左記の地域には、「JASH会員の集い」があり、JASHは、グループの代表者の連絡先を管理しています。また、シンガポール、南カリフォルニア、シカゴ、ワシントンにある宮代会海外支部でも、JASH会員が一緒に活動しています。海外生活を始める方は、渡航前に、是非JASHにお問い合わせください。代表者の連絡先をお知らせします。

古切手を集めています！

AMASCでは各国の同窓生から古切手を集め、スペインの古切手市場で換金して、AMASCの活動に役立てています。アリゾナ大会でも、各国の同窓生が持ち寄った古切手を、スペイン同窓会代表がトランク一杯に詰めて持ち帰りました。地道ですが、AMASCにつながる活動です。ご協力をお願いします。

使用済切手の周囲5ミリほどを残し、JASH事務室までお送りください。

JASHボランティア募集

JASHの活動のお手伝いをしてくださるボランティアを、常時募集しています。申し込みは、JASHウェブサイト「JASHボランティア募集」より

【お手伝いいただく内容】古切手の処理、パソコン入力、簡単な事務作業、「JASHの日」などイベントの手伝い、運転、翻訳、海外からの会員の案内、通訳、宿泊提供など。

委員会報告

ホスピタリティー委員会



JASH
ホスピタリティー
委員会委員長
角南 愛華
(宮40)

当委員会はAMASCホスピタリティーネットワークの一翼を担っており、国内外にいるJASH日会員、またAMASC関係者のご要望に対応すべく活動しております。現在六名が委員として登録され、多くの方々のご協力を頂きながら、同窓生を繋ぐ手助けのお役にたてるよう心掛けて務めております。

今年度も、宮代会が六月に開催する留学生昼食会へのお料理の提供や、三月の「JASHの日」の茶話会のご用意などさせて頂きました。ケイキやデザートはすべてJASH会員による心のこもった手作りです。年次を超えて皆様方が談笑しながら旧交を深める姿を目にいたしますのは、委員にとって何より嬉しいことです。このようなボランティアの方々をはじめ、当委員会の活動に対し多くの方々にご協力をいただいておりますことを深く感謝しております。

私は三月をもちまして委員長を退任いたしますが、当委員会が果たす役割の重要性をあらためて感じます。今後とも皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

AMASC 東京大会 記念基金委員会



AMASC 東京大会
記念基金委員会
委員長
渡辺 寿恵子
(み49)

二〇一四年十一月にアメリカ・アリゾナ州で行われた第十五回AMASC大会も無事終了しました。国内外のJASH日会員が多数参加しましたが、残念ながら適いませんでした。しかしながら大会に至る準備の段階で、スタディグループへの参加、「JASHの日」の発表、委員会恒例の「ヤングアラムネの集い」などを通して、年代を超えた同窓生との交わり、他の同窓会と共に働く楽しさを多くのヤングが肌身で感じたことでしょう。

二〇一四年六月十四日には宮代ホールにて、「ヤングとスタディグループの集い」と称して大会に向けての最終発表が行われました。高校生、大学生を含むヤング参加者も熱心に発表を聴き、その後の茶話会はいつにも増して賑やかで和気あいあいとしたものでした。

アリゾナ大会にヤングを送ることはできませんでしたが、当委員会の活動はより多くのヤングの知るところとなり、具体的な成果として、新たに二名の若い方を基金委員会に迎えることができました。新委員が異なる視点から斬新なアイデアを委員会の今後の活動にもたらしてくれることを期待してやみません。

JASH 資料委員会



JASH
資料委員会
委員長
山本 旬子
(真4)

資料委員会は今年で設立二十五周年を迎えます。当委員会の最も大切な仕事は聖マグダレナ・ソフィア・バラの精神を継承し歴史的資料を通して具現化してゆくことにあります。これまでに各同窓会より三千点を超える資料の寄贈がありました。これら良い状態で保存・整理された資料はJASHの貴重な財産です。昨年度の活動は、二〇一四年三月「JASHの日」に展示致しました資料の記録ファイルを作成することから始まりました。五月小林聖心女子学院アカイブ室を訪問。シスター景山、小林みこころ会同窓会の皆様にお世話になり、後日希望していただきました制服のご寄付を頂きました。七月八月大学オープン・キャンパス展示協力、九月宮代祭参加、十一月AMASCアリゾナ大会のル・マルシェ日本ブースに於いて世界聖心同窓会ブラッセ大会等の秘蔵写真を各国の皆様にご覧いただきました。また、聖心女子学院校長シスター大山、職員の方々、みこころ会創立一〇〇周年記念事業委員会の方々から保管庫を訪問、資料の見学をされ協力を依頼されました。

委員一同、新たなオファーに真摯に対応してゆく所存です。これから資料委員会へのご支援ご協力を心からお願ひ申し上げます。

資料委員会の刊行物

年表「日本国内聖心女子学院の歩み」
2008年改訂版 1冊1,500円

「語りつぐこと」第1集、第2集
1冊700円 (郵送の場合は1冊1,000円)

お申込み・お問い合わせはFAX、
JASHウェブサイト
日本聖心同窓会 JASH 資料委員会まで
(宮代会館への電話でのお問い合わせはご遠慮ください)

AMASC ウェブサイト

AMASCからの最新の情報が掲載されています。
AMASCの「今」をご覧ください。

URL <http://www.amasc-sacrecoeur.org/>:

SNSを利用して、アリゾナ大会の写真や動画も発信しています。

YouTube: https://www.youtube.com/channel/UCcPk9W_8nKrDk6aiVdy_Nw

Facebook: <https://www.facebook.com/youngAMASC>

Twitter: <https://twitter.com/SacreCoeurAlum>



同窓会報告

茂仁香会



茂仁香会
会長
末永 せい子
(茂5、三保7)

昨年度は札幌聖心創立五十周年を迎え思い出深い記念式典が開催されました。今年シスター田口が校長をご退任され新しく校長、教頭先生をお迎えし学校自体「スーパーグローバルハイスクール」として指定校となり、諸先生初め生徒達はより一層の努力をしております。

茂仁香会の最も大きな活動は四月の総会、九月の友愛セールです。どちらも準備は大変ですが、懐かしい同窓生が唯一集まる場でもあります。又十一月の追悼ミサへの参加はお世話になったシスターや早くに天に召された同級生のためにお祈り致しました。十二月のクリスマスバザーは手作り品のお店を出店致します。又夏にはニュースレターを発行し会員の皆様にお知らせや活動の報告等発信しています。一年の最後の活動は新会員説明会です。日本聖心同窓会として茂仁香会の仕組み等を説明しお茶とお菓子を食べながら和気あいあい質疑応答し交流を持ちます。私達役員は年間通して約十回ほどの役員会を開き少しでも学校のお役に立てる様力を注いでおります。

真理茂会



真理茂会
会長
山屋 俊恵
(真21)

二〇一四年もまた、継続の力、そして積み重ねて行くことで生まれるよき変化について感じた年でした。活動再開から三年目、三度目の友愛セール。今年二名の同窓生がお手伝いを出して下さい、四名で臨みました。お二人のお陰で当日、顔を出して下さる同窓生の方が昨年より多かつたように感じます。また、扱う商品のバリエーションも増え、来年の提案やチャレンジなどを話しながらの時間は過去にない充実感がありました。私達は屋外で行っております故、ご心配の声や様々なご提案もいただきます。お気遣いありがとうございます。しかしこの場所が好きなので同じ場所が続けることで覚えていたたくさんと、とても目に入りやすい場所でもありますので、それをメリットとしてアピールしていこう、という意気込みであります。

東京支部は、宮代祭では例年、北海道にちなんだ商品をご紹介したい、とアンテナを張り様々な意見交換からアイテムを決め、当日に臨みます。東京にて真理茂会の活動をしっかりと積み上げてくださる支部の活動が心強い一年でもありました。二〇一五年、友愛セール・宮代祭会場で皆様をお待ちしております。

みこころ会



みこころ会
会長
伊藤 康子
(み54、三英24)

二〇一四年四月より小糸前会長の後を受け、みこころ会会長に就任致しました。

みこころ会は、二〇一五年から二〇一七年を創立一〇〇周年イヤーズとし、三年に亘るお祝いの為に様々な記念事業を計画しております。みこころ会創立一〇〇周年記念委員会を中心に、幅広い会員の縦横の繋がりと、ボランティア精神に支えられ、母校のアーカイブ室設立支援、一〇〇周年記念誌発行、記念総会・ホームカミングデー開催、みこころ会年表作成、みこころ会館の歴史資料作成及び展示、みこころ会館の修繕及び整備、記念グッズの作成等の記念事業がすでに動き出しております。

みこころ会創立一〇〇周年記念募金を広く皆様にお願ひしておりますので、ご協力をどうぞ宜しくお願い致します。

二〇一四年度の活動と致しましては、五月に総会及び親睦会、六月に三光祭参加、裾野墓参、九月に宮代祭参加、十月にみこころ祭参加、総クラス幹事会、十一月に追悼ミサを行いました。二〇一五年二月には一〇〇回生として一二二名の新入会員をお迎えし、社会福祉部がチャリティー演奏会を開催、三月には「JASHの日」に参加致しました。

三光会



三光会
会長
堀 容子
(み66、三英36)

二〇一四年度は三光会にとって、英語科の募集中止というとても大きな変革の年となりました。

一九四七年に英語科の前身である、聖心女子学院英語専攻科が開設されてから六八年間、専修学校、専門学校と形を変えながら多くの素晴らしい卒業生を世に送り出してこられた学校の灯火が消えてしまうのは、本当に寂しくないお知らせでした。

一方、保育科は二クラスに拡張され女性の社会参画の一助となるべく、沢山の卒業生が保育の現場や様々なフィールドで活躍しています。

二〇二〇年の東京オリンピックを目前にし、多くの外国人観光客の来日に際し、英語の必要性は増すばかりです。専門学校では、卒業生、社会人を対象に、必要なレベルで英語を学び直せる公開講座を引き続き募集しておりますので、ご興味のある方は、専門学校にお問い合わせ下さい。三光町の素晴らしい(懐かしい)環境の中、是非英語をブラッシュアップしてみたいいかがでしょうか。

二年間という短い期間ではありましたが、専門学校の為にご尽力されたいらっしゃるシスター、先生方、事務の方々や、素敵な卒業生と同窓会の仕事をさせて戴けたことを心から感謝申し上げます。



語学校・ISSHアルムネ
会長
児玉 伸子
(I77, 宮31)

二〇一四年七月より新役員六名（I77、宮31）で任期をスタート致しました。卒業以来、それぞれが違う道を歩み三十年を経て同窓会役員として再び肩を並べる事ができた事に大きな喜びを感じております。また同窓会、追悼ミサ、バザーの参加等の際にはJASHの方々をはじめ多くの同窓生の方々に支えて頂き感謝の気持ちでいっぱいです。

世界に散らばり常に移動し続ける同窓生を繋げる役割を旧役員から引き継ぎました。そして若い同窓生への積極的なアプローチに着手し、活力のある同窓会へと活性化させる事を目指します。このため名簿の整理、ウェブサイトの有効活用、在校生へのアピールと微力ではありますが歩を進めて参りたいと考えております。

四一カ国の国旗が丸く描かれている我々のロゴは聖心会及び姉妹校の所在地を表しています。今までは英語表記でしたが、このたび新作をフランス語で送り出すことになりました。二一五年前の一八〇〇年にフランスのアミアンで聖心会が発足してからの道のりに改めて思いを馳せ、日本から世界へ増々絆が広がる事を祈念致します。ファミリーフェスティバル（四月二十五日）にて新作が並ぶ予定です。どうぞお楽しみに！



宮代会
会長
棚士 朋子
(D23, 宮31)

二〇一四年度、宮代会は、聖心女子大学震災復興チャリティデーに協力・参加、宮代祭、追悼ミサ、総会という大きな行事がございましたが、いずれも盛況のうちに終了いたしました。宮代祭では姉妹校の皆様が二〇三教室に代しましたことを感謝いたします。留学生昼食会開催や奨学金給付、学術助成金贈呈などで母校を支援し、年末援助金給付、福祉ボランティアを通して社会貢献する宮代会の活動全てが、会員の分かち合いのもと進められております。

宮代会館ではJASH日会員へのお部屋の貸し出しをいたしております。お稽古、勉強会やクラス会等にご利用いただくことができますので事務室までお問い合わせくださいませ。聖心グッズも文具や小物、Tシャツなど皆様にお選びいただけますようスタッフ一同頑張っております。総務、福祉、財務文化、宮代祭理事総勢一八名がそれぞれセクション活動を通して宮代会行事を導き、各学年幹事たちと一緒に実行されていく様子が、聖心の子供たちとしての誇りと絆の表われと感謝いたします。

いろいろな行事やトピックスを随時ウェブサイトに掲載いたしておりますので、是非ご覧いただきたいと願っております。



ドウシエーン会
会長
大竹 奈穂子
(D21, 宮29)

二〇十四年五月、総会に於いて汐見前会長から会長職を引き継ぎ、役員十六名での新体制になりました。

九月には学年幹事会を開催、不二聖心の地理的な災害不安や新入生の減少に対し、同窓会としては今後学校との連携を保ちながら全面的に応援し、協力してゆく応援団としての在り方を再確認しました。そのひとつとして、現在聖マグダレナソフィアの教えが生徒たちにより身近なものとなるよう御像建立のための寄付活動をしています。秋には宮代祭参加、秋のつどい、会長のAMASC参加、追悼ミサ、クリスマスキャロルなどの行事も無事に終わり、今後は五月九日に開催される総会の準備に入ります。今回、総会後に各界で活躍する卒業生によるパネルディスカッションを予定しております。不二聖心で学んだ聖心スピリットを社会の中でどのように生かし、発揮しているかなどのお話を伺う予定です。在校生、ご父兄にも是非聴きにいらして頂きたいと思っております。今後も同窓会活動を仕事や家庭と両立できるように、役割分担を明確にしながら、無理せず、相談しながら進めていきたいと考えています。役員一同、それぞれが労働を惜しまず、できる人ができる場所

で活動するよう工夫してまいります。



小林みこころ会
会長
櫻井 和子
(小み45)

私達の二年間の役員活動も残すところあとわずかとなり、五月の総会をもって、新役員と交代いたします。JASHを始め、学院や同窓会会員の皆様のお力添えをいただき、微力ながら楽しく同窓会活動ができましたことを心より感謝申し上げます。

さて四月の学院主催の春バザー、五月の総会を終えて後、台湾と韓国・フランス・オーストラリアから、それぞれ高校生をお迎えて国際交流のラッピング、お抹茶のご接待などで日本の文化を体験していただきました。十一月には宮代会関西支部と合同開催した追悼ミサや制服のリサイクルバザー、十二月は同窓会主催クリスマスバザーがございました。この日はあいにくの雨模様となりましたが、同窓生や関係団体の出店を多数いただき、また子供くじやビンゴゲームなどの子供向きのコーナーもあり、賑やかな一日となりました。

また今年度は、ホームページをリニューアルいたしました。同窓会活動の情報を会員の皆様に提供するとともに、同窓生同士の繋がりを深める手段なることを願っております。今後もJASHの一員として、小林みこころ会をどうぞよろしくお願いたします。



International School of the Sacred Heart

What is it that makes Sacred Heart special?

We are a school that:

- Inspires hearts and minds
- Nurtures a passion for learning and zest for life
- Prepares women for the world
- Provides wise freedom to encourage responsible choices

The journey begins here - come and see for yourself.



Believe · Learn · Connect · Serve · Grow

4-3-1 Hiroo, Shibuya-ku, Tokyo 150-0012 TEL:+81-3-3400-3951 info@ssh.ac.jp www.ssh.ac.jp



日本国内の聖心姉妹校の
フェイスブックページを
ご存知ですか？
ぜひご覧ください。

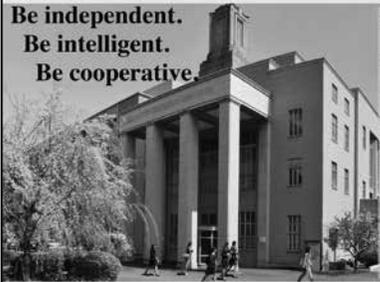
学校法人聖心女子学院教育ネットワーク
Sacred Heart Seven Sister Schools

<https://www.facebook.com/SeishinNetwork>

「共生」「姉妹校連携」「東日本震災」
「児童・生徒・学生募集」を
キーワードとして7校の情報を発信しています。

聖心女子大学

Be independent.
Be intelligent.
Be cooperative.



英 語 英 文 学 学
日 本 語 日 本 文 学 学
哲 史 学 学 学
人 間 関 係 学 学 学
国 際 交 流 学 学 学
心 理 教 育 学 学 学
教 育 学 学 学
大 学 院
修 士 課 程 / 博 士 前 期 課 程
博 士 後 期 課 程

<http://www.u-sacred-heart.ac.jp>
<https://www.facebook.com/SeishinDiary>



札幌聖心女子学院中学校・高等学校

2014年度より
文部科学省「スーパーグローバルハイスクール(SGH)」指定校
少人数だからこそできる、一人ひとりに目が行き届く家庭的な教育。
札幌聖心の英語教育や課題研究の実績を生かし、英語のコミュニケーション能力と豊かな国際感覚を身につけた生徒を育て、国際社会と地域社会に貢献する女性の育成を目指します。

ソフィア・サイエンスクラス 定員40名
グローバルクラス 定員20名



〒064-8540
札幌市中央区宮の森2条6丁目10-1
TEL.011-611-9231
FAX.011-612-0980

不二聖心女子学院 中学校高等学校 寄 宿 舎
あ り



〒410-1126 静岡県裾野市桃園198 Tel. 055-992-0213
ホームページ <http://www.fujiseishin-jh.ed.jp>
Facebook <http://www.facebook.com/fujisacredheart>



聖心女子学院



「魂の教育」を大切に、
初中高一貫の多彩な
教育プログラムを実践しています。

初等科1年入試
11月1日(日)
初等科5年転入・編入試
1月16日(土)
中等科1年帰国生入試
12月19日(日)

* 学校説明会・授業公開・公開行事にご参加いただけます。
詳細は本校ホームページにてご確認ください。

URL <http://www.sacred-heart.ed.jp>

心を磨く 一貫教育



豊かな知性と信仰に根差した
行動力のある女性の育成につとめています。

学校法人 聖心女子学院



小林聖心女子学院
小学校・中学校・高等学校

聖心女子専門学校の

保育科



2年間で幼稚園教諭二種免許、保育士資格同時取得可

- ◆ 実践力を重視した教育課程を編成して保育者としての力を養います。
- ◆ 大学・短大の既卒者・社会人経験者多数在学中。
- ◆ 文部科学省指定・厚生労働省指定



◆ もう一度英語力に磨きをかけたい方のために「公開講座」も開講しています。詳しくはお問い合わせください。
※ 聖心女子専門学校では、平成27年度入学生から、英語科の募集はありません。

〒108-0072 東京都港区白金4-11-1
TEL 03-3442-8649
URL <http://www.sen-sacred-heart.ac.jp>

2014年度 JASHの1年

1. 役員会 定例役員会 毎月 第2火曜日 全11回
臨時役員会 随時開催

2. 理事会 隔月 第3火曜日 全6回

3. 会長、副会長の各同窓会総会等出席 (7回)

4. JASHスタディグループ

各グループ総括発表 (4月22日)

「JASHヤングアラムネとスタディグループの集い」(6月14日)

AMASCアリゾナ大会 スタディ成果発表 (11月7日)

国内報告会 (12月16日)



2014年度理事

5. プレゼンテーション

聖心会総長シスターコーナンを囲むお茶会 (4月14日)

宮代祭 (9月13日)

みこころ会新入会員歓迎会 (2月12日)

6. 登録ボランティアの活動

古切手処理 (随時)

JASHの日準備・当日進行・後片付け (3月16～17日)

7. JASH主催行事

第29回「JASHの日」(3月17日 於 聖心女子大学)

8. AMASC関連

第15回 AMASC世界大会参加 (11月6日～9日 於 アメリカ合衆国アリゾナ州)



2014年度役員

2014～2015年度役員

会長	中山 洋子(み51)
副会長	崎川由美子(み49・三英19)
	原科 節子(み51・宮20)
書記	唐澤 明子(み67・宮36)
	赤松 久子(み60・宮29)
会計	中山 宏子(小み44)
	汐見久美子(ト19)
監事	岩田友美子(茂9・宮31)
	林 美穂子(1'88・宮42)

「心一つにして耳を傾けよう」というテーマを掲げ、パメラ・スナイダーがAMASC会長に就任したのは2010年12月でした。東日本大震災発生により延期を余儀なくされたJASHスタディグループは、2011年10月に発足。8同窓会からの参加者43名が三つのサブグループに分かれて、読書し、話し合い、アウトティングをしました。またSr.増田早苗の「神祭り」と信仰心」、Sr.寺田和子の「ケニア・ウガンダの経験分かち合う」という二回の講話会を開きました。お二人の長年の研究、体験の貴重なお話は、全グループにとって大きな力となりました。

2013年3月、スナイダー会長を迎えて行った三グループとヤングアラムネグループによる中間発表は、映像にも趣向を凝らし、素晴らしいものでした。その後、開催地アリゾナについて調べ、心は大会へと飛びます。世界のどこかで同じテーマを勉強している人たちがいると思うと、AMASCを大切にする気持ちが高まりました。

2014年4月、通算11回目にあたる最終例会で、各グループは、勉強の成果をまとめたレポートを発表しました。そこから、大会に向けJASHの報告として一本化する作業が始まります。堀田公子前

JASH会長監修のもと、松原美智子前副会長に英語のチェックをお願いして、発表者の岡村香さんと共に原稿とスライドを仕上げ、6月の「スタディグループとヤングアラムネの集い」で披露しました。

アリゾナ大会では、JASHの他オーストラリアとブラジルがスタディの発表を用意していました。会場では中山洋子会長率いる30名近くのJASH会員が揃って、世界各国の参加者100名以上とともに熱心に見守ってくれました。堀田前会長によるJASHとスタディグループの紹介のあと、委員長の私が三年間の活動を簡潔に説明し、唐澤明子さんが画面操作を、岡村さんがプレゼンテーションを行いました。発表中、会場は水を打ったような静けさでしたが、終了と同時に立ちあがっての拍手喝さいで興奮に包まれました。内容、プレゼンテーションの両方にあらゆる賞賛をいただきました。「これぞAMASC」「発表原稿が欲しい」と集まる声に、事の重大さを知りました。シドニー大会以来忘れかけられていたスタディグループの発表を復活させたと言えるかもしれません。JASHが、ビジネス、ホスピタリティとともにAMASC世界大会の三本柱を構成するスタディの大切さを示すことができたと誇らしく思っています。

大会参加者の感想

AMASCアリゾナ大会ごぼれ話 JASH副会長 崎川 由美子 (み49、三英19)

AMASC世界大会に参加することの楽しみの一つに、世界中から集まる同窓生との様々な場での出会いがあります。今回のアリゾナ大会でも心に残った沢山の出会いがありました。

ル・マルシェという小さなバザー会場がホテルの一室に用意され、日本を含む、アメリカ、インド、韓国、ウガンダ、オーストラリア等から同窓会や学校が出店していました。JASHからも役員がスーツケースに分散して運んだ各同窓会からの選り抜かれた自慢のグッズを販売しました。初日からお客様が殺到し、あっという間に目ぼしい品物は売れていきました。デザインの可愛さ、品質の良さ、リーズナブルな価格が好評だったようです。買いにきてくださるお客様に品物の説明を通して、お互いの学校や同窓会の現状を話したり、運営の悩みを語り合ったり温かい交流が生まれました。イタリアの同窓生のひとりは、私たちが運搬や品物を覆うために使っていたナイロンの千羽鶴模様の風呂敷をどうも売って欲しいと連日通い続け、心優しいJASHは、悩んだ末、売り物ではないので、と彼女にプレゼントしてしまいました。彼女の喜びようはご想像にお任せします。お店に座っているだけで世界の同窓生と関わるのが出来た楽しい時間でした。

また、2日目の朝からの会議が漸く終了した時刻、夜の食事会には、まだ少し時間があつたので、何人かの仲間と街への散策を思い立ち、玄関でなかなか来ないタクシーを待っていた所、スコッツデール在住の台湾の卒業生が自分の車で街の案内を申し出てくださり、私たちが希望したスーパーマーケットでの買い物に付き合った後、何とも幻想的なサンセットの光景の中、ゴルフ場の中の住宅地に立つ白亜のモダンなご自宅に案内し、美しいインテリアのお部屋を見せてくださったのです。彼女自身の超過密スケジュールの中、貴重な時間を快く提供してくださったこの台湾の卒業生の瞬時の親切な行動に、私たちは、心から感動し、真のホスピタリティとは何かを改めて学んだ気がしました。事前に念入りに準備するホスピタリティも大事ですが、その場面で即、判断し、相手の気持ちに沿って行動することとても大切であると痛切に感じたのは、私だけではなかったと思います。私たちもこのようなおもてなしをいつでも実践できるよう心がけていきたいと思えます。沢山の出会いを通して貴重なものを学び得たアリゾナ大会でした。

ロンドンからの参加 倉八 泰子 (三英19)

2014年11月6日から9日までアメリカ合衆国アリゾナ州フェニックスで開催されました第15回アマスク世界大会に参加させて頂きました。現在英国ロンドンに住んでおりますがJASHの皆様と一緒に日本から出席し、会議では各国からの意見、現代の問題点を拝聴、特に日本からのスタディグループ「心一つにして耳を傾けよう」発表は内容が大変良くまとまっておりました。

英国からは残念ながら会長が不在でしたので、英国会長の代理を急に仰せつかり、次期会長候補、役員、名誉会員の選択にJASH会長中山洋子様と共に投票させて頂きました。

初日の開会ミサには、参加者が一同参列して、各国代表と共に入場致しました。私は英国代表として英国国旗を持ち、スナイダー AMASC会長が「これは稀な事、しかし心一つ両国の友情の為に」と温かいお言葉、そして貴重な経験をさせて頂きました事に感謝申し上げます。

AMASC世界大会に出席して

坂大 美恵子 (宮30)

聖心を卒業してはや35年、2014年は聖心とたくさんかかわることができましたことに感謝いたしております。毎年恒例のサンフランシスコ・ベイエリアの聖心同窓会を10月に終え、翌月11日にはアリゾナでのAMASC世界大会に出席させていただきました。以前から出席してみたいと思ながらも今まで育児、仕事に追われてなかなか願いを叶えることができませんでした。今回は4年に一度の大会が私共の住むカリフォルニアの隣の州、アリゾナにて開催されることもあって是非ともと思いサンフランシスコ・ベイエリアの同窓生をお誘いして参加させていただきました。

世界中の聖心ファミリーがアリゾナに集合した4日間は圧巻でした。同じ教育理念のもとで様々な国の様々な世代の聖心の卒業生が合流して語り合い分かち合い学び合ったことは、現在の世界に累積する問題を解決し、これからのよりよい世界を作りだすための起動力となったように思っています。今年度のAMASCのテーマ「Listening with One Heart」に沿ってのJASHの4年間にわたる研究発表は明確で興味深い大変すばらしいものでありました。まさに世界中の聖心ファミリーが心一つにして耳を傾けていました。

アリゾナに集まった聖心ファミリーが大会のあと世界中に広がってこの良き輪を広げて行くことを考えますと聖心ファミリーの力を感じ、また世界中で卒業生が聖心を支えていると思うと私自身もその一人でありたいと強く思いました。

次回メキシコでの開催にも多くの方々に参加できればと願っております。初めて参加させていただいてすっかりこのお集りの虜になってしまったようです。今回の大会のためにお力を尽くして下さったJASHの役員の方々、また日々の研究にご努力なされた会員の方々に深く感謝いたしております。

AMASCアリゾナ大会三日目の講演

松本 澄子 (み55、宮24)

Sr. キャサリン・ヒューズの基調講演とジョージ・コイン神父様の講演を拝聴した。

Sr. ヒューズはアメリカ出身の神学者、聖心会元全米管区長。大会のテーマ、Listening with One Heartの解釈と実行への道を微笑みつつ力強く話された。Listeningは時間がかかり、お互いが深く関わり合う中で成し得、形は多様で、実践には祈りが重要。聖マダレナ・ソフィアが、我々は憐み的心を実践する仕事が使命と言われたように「野戦病院」の如く、戦い傷ついた人々を受け入れ癒す存在となるように。優しさ愛情で真摯に相対すればListeningの力は伸ばしていきたくと励まされた。会場に流されたケルトの祈りの歌は心に染み付いた。

コイン師はアメリカ出身のイエズス会士。元パチカン天文台台長、元アリゾナ大学天文学教授。宇宙の進化は今も続き、それが偶然か必然かは「私は解りません」と明るく言われ、科学と信仰に矛盾がないことを表明された。宇宙創造の神秘を見聞きする事 (Listening) で創造の一旦を担えるかもしれないと。

自分の生き方とAMASCの共同作業にもListeningがどれ程必要かを強く感じさせられた。

第15回 AMASC アリゾナ大会報告

1) アリゾナ同窓会紹介

第15回 AMASC大会を開催したアリゾナ同窓会はとても小さな会です。1960年代にはアメリカ各地に聖心の学校が35ありましたがアリゾナで閉校したことはなく、冬に気候の温暖なこの地に移り住んだ卒業生たちが結束して立ち上げました。現在のメンバーは50人程、アメリカ人だけでなく、1948年に共産党政権にブダペストの学校を閉鎖され米国に亡命したハンガリーの同窓生や留学先のアリゾナを永住の地と決めた台湾の卒業生、また仕事のためにこの地に住むJASH会員も加わり、小規模ながら多彩なグループを形成しています。

大会の準備と運営を引き受けるのは並大抵なことではありませんが、大会テーマについての基調講演や管区として力を入れている活動の紹介などプログラムの面で聖心会アメリカ・カナダ管区のシスターの方の力強いサポートがあり、参加者に配布されたトートバッグには北米各地の姉妹校同窓会からの聖心グッズが詰め込まれ、AASH（北米聖心同窓会連合）の団結と連帯の思いが溢れていました。

2) コーナン総長様のビデオメッセージ

大会2日目の全体会で聖心会総長Sr.コーナンのビデオメッセージが放映されました。6年前に総長に就任されたシスターは世界に点在する会の活動の場を残らず訪ねることを目指し、その旅先での出会いについて以下のような思いを語られました。

聖心会では今日2,200人のシスターが42ヶ国で教育に携わる活動をしている事。先々で出会った卒業生が母校での教育を通して身につけた価値観を生きる努力を続けており、創立者の描かれたヴィジョンの実現に感銘を受けた事。パチカン公会議後に設立され、激動の時代に聖心の教育を守り育て、現在創立50周年を迎えている学校が札幌聖心を含めて世界各地にあり、そこにも生徒たちに聖心の教育の真髄を伝えようと熱意を燃やす卒業生が存在し心強く思う事。

スナイダー会長率いるAMASC執行部の掲げた「心一つにして耳を傾けよう」の大会テーマにより創立者が大切にされた『一つ心』の絆が同窓会と聖心会との間に強められた事への感謝と、同窓生とその活動への変わらぬ祈りを約束されてメッセージを締め括られました。

5) Young AMASC

AMASC大会に若者を…と初めて世界に呼び掛けたのは、1986年にAMASC東京大会を開催された小堀玲子会長でした。大会期間中広尾キャンパスで、各国から来日した若者を迎えた50人が集まりヤングメンバーズの会を開き、楽しいひと時を過ごしました。

20年後の2006年ヨーロッパ連合執行部によりAMASC役員15人の中にヤング担当役員の席が設けられました。初代はオランダ人の医学生で、アリゾナ大会までの2期8年、若者・母校・同窓会を繋ぐ組織作りとSNSの活用により海を越えて若い同窓生を結ぶネットワークを構築しました。アリゾナ大会の日の様子がYouTube、Facebook、Twitter、を介して皆さんのパソコンに届いたのは、彼女を取り巻く若いグループの活躍によるものです。

その中からこの度AMASC史上初めて二人の男子卒業生が役員候補として立ち、当選しました。共に20代の若者で、一人はドイツ人、もう一人はメキシコ人です。欧米の聖心系列校が相次いで共学化してから30年、AMASCは2014年に新しい時代に突入しました。

3) “古切手を集めています！”

「古切手を集めています！」のJASHの呼びかけに応じてたくさんのJASH会員が支えて来たスペイン発の古切手ファンドは今から40年以上も前のAMASC草創期に2代目会長の発案で始められたAMASCの資金作りです。世界中から集まった古切手を当時交換レートが一番良いとされたスペインのビルバオの市場で売り、4年ごとに開かれるAMASC大会への参加が経済的に困難な卒業生を援助するという目的を持っていました。1986年の東京大会に鉄のカーテンの彼方からポーランドとハンガリーの卒業生が来日したのもまさに古切手のお蔭でした。如何にも聖心らしく成り立ちも活動の詳細も伝承の世界に属していたこのファンドは、40年に及ぶスペイン同窓会の地道な活動とそれを支えてきた各国の協力に光を当てようという思いと、今後経済的援助を求める声が増えることが想定されることから、今大会アリゾナ執行部の発議により明文化され、満場一致で細則入りが実現しました。古切手ファンド当局は大張り切りとの事です。

JASH会員の皆様、引き続き古切手をお願いします！

4) 新執行部紹介

AMASC世界大会のフィナーレを飾るのは最終日に行われる選挙です。国際色豊かなAMASCではどのような国が執行部を担うかによって趣の異なる4年間になります。今回は、メキシコ1ヶ国のみ立候補となり、現職のメキシコ同窓会会長のマリサ・デ・マルチェルが新会長候補としてアリゾナに登場しました。一見肝っ玉母さん風ながら履歴書を見ると5か国語を操り、英文学・法律・政治分析を修めた学識豊かな婦人です。会長を支える新執行部には、聖心会とのリエゾンとして1994年-2000年総長を務められたSr.ケヴェドが入り、副会長、総会計、総書記の3名ともメキシコの聖心会と深く関わってきた同窓生です。創立者が遺された霊性を守り深め、母校との繋がりをより強固にし、明日を担う若い世代に活躍の場を与え、創立者の夢見たように世の中を変え得る同窓会となることを目指すと、目標は高く4年間のテーマは「ソフィの遺産、世界への贈り物」との事。次回大会開催地はユカタン半島のメリダと発表されました。

第15回 AMASC アリゾナ大会日程（2014年11月6日～9日）

6日	開会、各国会長会議、開会ミサ、開会レセプション
7日	フランス語ミサ、Sr.コーナン挨拶 執行部・役員報告、スタディ発表、立候補者紹介 ウェスタンテーマのディナー
8日	Sr.ヒューズ基調講演 Fr.コイン講演「宗教と科学の対話」 聖心会シスターによる水問題プレゼンテーション Fr.コイン司式のミサ、ガラディナー
9日	選挙（エメリタス会員・新執行部・新役員） 新会長によるスピーチ、閉会 JASH親睦会



ロサンゼルス空港にて



アフリカの同窓生と



イギリス会長代理として

AMASCアリゾナ大会ALBUM

Listening with One Heart
ARIZONA



開会ミサ 中山 JASH 会長入場



JASH からの参加者



会議



スタディ発表を終えて



新会長、前会長による新役員任命



新役員



ル・マルシェ



セドナ観光

発行日 2015年3月31日
発行所 日本聖心同窓会 (JASH)
発行人 中山 洋子

編集 JASH 役員
制作 (株) 梁プランニング

住所 東京都渋谷区広尾4-3-1
聖心女子大学 JASH 事務室
F A X 03-3407-0671